

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|-----------------------|---|---------------------------------------|-------------|---|---------------|
| 学 科 | 作業療法士学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
| 科目名 | 作業療法技術論 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 装具加工室 |
| 担当教員 | 小田原 安成 | 実務経験と その関連資格 | (義肢装具士)主に病院、養護学校で営業、義肢装具の採型と製作を行っていた。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 補装具の義肢・装具の種類や機能、義肢・装具の適応対象となる切断・離断やその他の疾患について学習していく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| ・ 期末試験(筆記)100%で評定する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法学全書 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学[改訂第3版] (協同医書出版社) ・ 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学[改訂第2版] (メジカルビュー社) ・ 図解 作業療法技術ガイドー根拠と臨床経験にもとづいた効果的な実践のすべて[第3版] (文光堂) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各授業の範囲の教科書を読むことで予習を行い、授業後は配布資料やプリントを整理し復習を行う。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| ・ 予めテキストを読んで授業に臨むこと。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 | | 教科書 配布資料 | 【事前学習】シラバスを読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 義肢装具学概論 補装具をについて学ぶ | | | | |
| 第2回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。 | | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 義肢総論 切断と義手、義足について学ぶ。 | | | | |
| 第3回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 義手の適合検査が実施できる。 | | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 義手の構成要素、義手の訓練、義手の適合検査、仮義手について学ぶ。 | | | | |
| 第4回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 義手の適合検査が実施できる。 | | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 義手の構成要素、義手の訓練、義手の適合検査、仮義手について学ぶ。 | | | | |
| 第5回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 | | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 義手について筋電学を学ぶ。 | | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|---------------------------|--|---------------|---|
| 第6回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の断端長と義肢の適応について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 義手と適応疾患例(小児切断、前腕切断、上腕切断)について学ぶ。 | | |
| 第7回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の断端長と義肢の適応について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 義手と適応疾患例(小児切断、前腕切断、上腕切断)について学ぶ。 | | |
| 第8回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 装具総論(下肢装具、体感装具、上肢装具各総論)について学ぶ。 | | |
| 第9回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 装具総論(下肢装具、体感装具、上肢装具各総論)について学ぶ。 | | |
| 第10回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 適応疾患例 頸髄損傷、末梢神経損傷、手の外科ハンドセラピー、脳血管障害について学ぶ。 | | |
| 第11回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 適応疾患例 頸髄損傷、末梢神経損傷、手の外科ハンドセラピー、脳血管障害について学ぶ。 | | |
| 第12回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】今までの総復習(30分) 【事後学習】国試過去問題(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 義肢・装具のまとめ 国家試験過去問題の演習を通して、義肢・装具について復習と国試過去問題を行う。 | | |
| 第13回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。 | スプリント制作のための材料 | 【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | スプリントの製作実習を行う。 | | |
| 第14回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。 | スプリント制作のための材料 | 【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | スプリントの製作実習を行う。 | | |
| 第15回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。 | スプリント制作のための材料 | 【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分) |
| | 各コマにおける授業予定 | スプリントの製作実習を行う。 | | |